

菌根菌を活用したマカダミアナッツの有機農業技術の普及・実証事業 株式会社オーガニック・ソリューションズ・ジャパン(東京都)

ルワンダ国の開発ニーズ

- 農業生産性向上
病害虫の発生時や発育不良に対して有効な有機農業管理手段が確立されていない。
- 農産物の高付加価値化
海外輸出を目的とした有機マカダミアナッツ生産の農法の確立と生産拡大が求められている。

普及・実証事業の内容

- 有機農業技術を用いたマカダミアナッツの栽培を通じて、その有用性を実証する。
- 有機農業技術及び農園管理技術を用いたマカダミアナッツの栽培に関する人材育成の有用性を検証する。
- 当該技術を用いたマカダミアナッツの生産計画を検討する。

提案企業の技術・製品



製品・技術名

- アーバスキュラー菌根菌
(作物の根に共生して成長を助ける微生物)を中核とした有機農業技術
- アーバスキュラー菌根菌
- 有益パートナー細菌
- パートナー植物を用いた草生法及び病害虫防除
- 農園管理技術(施肥、剪定、除草、防除方法)

事業概要

相手国実施機関:
農業輸出振興機構

事業期間: 2016年10月～
2020年7月

事業サイト: 西部州カロンギ県、
東部州ルワマガナ県

ルワンダ国側に見込まれる成果

- 生産性向上により、農民の所得向上
- 有機認定や輸出市場用(サイズ・高品質)といったマカダミアナッツの生産が可能となる

日本企業側の成果

現状

- 2010年第1回協力準備調査(BOPビジネス連携促進)にて9万本のマカダミアの木が植えられているものの管理・加工が殆どなされていないことが判明。
- 2012年5月に関係会社 Rwanda Nut Company を設立、マカダミアナッツを適切に管理・加工する生産基盤の整備を開始した。

今後

- 事業実施後、関係会社 Rwanda Nut Company と共に有機マカダミアナッツ農園の拡大を図り、有機マカダミアナッツの輸出農産品化を図る。